

平成 30 年 度
教育委員会の事務に関する点検・評価報告書
(平成 29 年度対象)

真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり

平成 30 年 11 月
寄居町教育委員会

目 次

I 趣旨	2
II 点検・評価の基本方針	2
III 点検・評価の結果	3
「第6次寄居町総合振興計画基本構想」における基本方針及び基本施策	
・ [成長と学びの環境の充実] 学校教育と教育環境の充実	
・ [成長と学びの環境の充実] 生涯学習環境の充実	
・ [成長と学びの環境の充実] スポーツ環境の充実	
・ [成長と学びの環境の充実] 青少年の健全育成	
・ [活躍の場の充実] 多様な人の活躍・地域貢献活動の支援	
・ [活躍の場の充実] 地域間交流・国際交流の推進	
・ [一人ひとりを尊重する地域づくり] 人権尊重と相互理解の促進	
・ [歴史の継承、文化の振興] 歴史資源の保護・継承	
・ [歴史の継承、文化の振興] 伝統文化の継承	
・ [歴史の継承、文化の振興] 文化活動の充実	
・ [自然資源の保全・継承] 自然環境の継承	
IV 結びに	40

I 趣 旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

寄居町教育委員会では、同法に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、「教育委員会の事務に関する点検・評価」（以下「点検・評価」という。）を実施し、報告書にまとめました。

II 点検・評価の基本方針

「第6次寄居町総合振興計画基本構想」が、2017年度から2026年度（平成29年度から平成38年度）を計画期間として、これからの地域社会や行政サービスのあり方を示し、町民と町がともに目指すまちづくりの目標を掲げ、ともに取り組むことのできる総合振興計画として策定されています。寄居町教育行政の主要施策もこの中に掲げられています。これをもとに教育委員会では、「真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり」を基本的な理念として、次の5つの教育行政重点施策に取り組みました。

1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進
2. 豊かな心と健やかな体の育成
3. 教職員の資質向上と教育環境の充実
4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進
5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進

点検評価は、「第6次総合振興計画基本構想・前期基本計画」に掲げられた基本施策の取り組みの内、教育委員会で取り組んだものに上記5項目を当てはめて実施いたしました。

なお、この点検評価に当たっては、学識経験を有する方から意見・提言をいただきました。

Ⅲ 点検・評価の結果

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

「成長と学びの環境の充実」

【学校教育、生涯学習、スポーツを通し、豊かな心と人間性・創造性を育てる環境を整えます。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

- 「1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進」
- 「2. 豊かな心と健やかな体の育成」
- 「3. 教職員の資質向上と教育環境の充実」
- 「4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進」
- 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

施策1 学校教育と教育環境の充実

取り組みー1 確かな学力の育成

- ・ 真の学ぶ力を身につけ、自らの未来を切り拓くことができるよう、基礎的な知識、技能はもちろん、学ぶ意欲や思考力・判断力など、確かな学力の育成のため、次の取り組みを行いました。

なお、学校においては、アクティブラーニングを取り入れた指導方法の充実を図り、児童生徒が主体的な学び、対話的な学び、深い学びができる授業に努めました。

①放課後サポートスクール事業

教員経験者や教員免許所有者を放課後サポーターとして小学校6校に30名配置し、実施回数を増やしました。それにより、きめ細かな指導を行うことができ、計算技能では、県の平均正答率を上回る学校が複数ありました。特に2

年生のかけ算の正答率は9割になりました。

放課後サポートスクール事業実施状況

	29年度	28年度	増減
実施回数	29回	20回	9回

②土曜サポートスクール事業

中学校3年生対象の土曜塾では、早い時期から学習意欲を喚起し、学習習慣を定着させるため実施回数を増加するとともに、4月上旬実施の春塾や期末テスト講座を新たに実施しました。参加生徒の割合は、中学3年全生徒数の3割以上となり、全体の偏差値は、数学で5ポイント、英語で2ポイント向上しました。

③ハイパーQ Uテストの実施

全児童生徒を対象に学級満足度や学校生活意欲度を把握するためのテストを実施しました。それにより、客観的な視点から児童生徒を理解することで、具体的な支援を行うことができました。

④学力向上推進委員会の取り組み

学力向上推進委員会を5回開催し、各校の情報交換を行うとともに、学力向上に向けて手立てを話し合うことができました。

取り組みー2 英語教育の推進

- ・ グローバル化に対応できる英語教育の推進のため、次の取り組みを行いました。

①外国語指導助手（ALT）派遣事業

小学校では、担任教員がALTを効果的に活用して授業を進められるように各校から1/3の教員が参加する外国語活動研修会や英会話研修を実施しました。担任教員の外国語活動の授業やALTとの関わり方に対する意識を変えるきっかけとして、効果がありました。

②中学校英語検定無償化事業

英検受検者の割合が2年生は約15%以上、3年生は約13%以上増加しました。また、3年生は英検3級以上の取得率が昨年度の8%から23.6%へと約3倍に向上しました。

学年	受検率	学年	受検率	学年	3級以上 取得率
29年度2年	58.8%	29年度3年	53.5%	29年度3年	23.8%
28年度2年	43.5%	28年度3年	40.3%	28年度3年	8.0%

取り組み－3 小中一貫教育の推進

- ・ 中一ギャップの解消や学びの連続性による学力向上を目指し、小中一貫教育の具現化のため、次の取り組みを行いました。

①未来を拓く学校教育検討委員会による検討

有識者や関係組織の代表者等で構成された「未来を拓く学校教育検討委員会」を立ち上げ、寄居町の小中一貫教育と学校の適正規模について検討するため5回の会議を開催し、まとまった意見を提言いただきました。

取り組み－4 健やかな体づくり

- ・ 健やかな体づくりのため、次の取り組みを行いました。

① 体力向上推進委員会の取り組み

体力調査の結果では、20年度より10年連続で埼玉県トップレベルとなりました。また、体力向上推進委員会の健康教育部会において、むし歯治療率の向上を目標に掲げて取り組み、治療率が昨年度より11.8%向上しました。

②校庭芝生化事業

生徒がみどりにふれあう環境を整備するため、県の補助金を活用し、ラグビーに力を入れている寄居中学校において校庭芝生化工事を実施しました。

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
寄居中	校庭芝生化工事	張芝工 A=1,280 m ²	5,938
		暗渠排水工 L=85m	
		植栽工 1本	

③グラウンド改修事業

学校体育施設の環境向上のため、水はけが悪かった寄居小学校グラウンドの改修工事を実施しました。

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
寄居小	グラウンド改修工事	グラウンド改修工 A=5,500㎡ 暗渠排水工 L=2,297m 集水柵設置工 5基 コースロープ撤去・設置工 一式	24,457

取り組みー5 インクルーシブ教育の推進

- ・ インクルーシブ教育推進のため、次の取り組みを行いました。

①教育委員会事務局事業

教育サポートセンターでは、幼稚園・保育所と小学校の円滑な引継ぎを図るため、相談員が定期的に幼稚園や保育所を訪問し、就学前の児童の情報を収集して各学校に提供しました。

来所相談数

(単位：件)

区分	件数	備考
来所相談	184	相談内容によって専門機関や臨床心理士へ
電話相談	156	
合計	340	

②学校サポーター事業

通常学級において配慮を要する児童生徒への学習支援や特別支援学級の児童生徒、病気等により肢体が不自由な児童生徒への学校生活に対する支援を行うため、学習支援サポーターを28人、介助サポーターを11人配置しました。

③特別支援教育事業

臨床心理士や教育サポートセンター相談員、さわやか相談員やスクールカウンセラーと連携して41人に対し知能検査を実施しました。それにより児童生徒の特性を客観的に把握し、個に応じた支援へつなげることができました。

取り組み－6 教職員の資質向上

- ・ 教職員の資質向上のため、次の取り組みを行いました。

①学力向上推進委員会の取り組み

夏期休業中に模擬授業研修会や授業創り研修会、より・E授業を創る研修会を行い、教員の授業力向上に努めました。

②指導委員制度の取り組み

町内小中学校において各教科領域で指導力のある教職員を指導委員として委嘱し、各校の授業研究会で指導者としてその力を発揮してもらいました。今まで指導委員が作成していた学校訪問所感集を29年度から廃止することで各教科領域の指導により専念できるようにするとともに、北部教育事務所の学校訪問（授業と分科会）に指導委員を参加させることで指導委員の指導力を更に向上させるように努めました。

③研究委嘱事業の取り組み

研究委嘱事業として、学習指導の研究を1校（城南中学校）に委嘱し、人権教育を2校（寄居中学校・用土小学校）に委嘱しました。研究にあたっては、アクティブラーニングを様々な場面で取り入れるなど、授業改善に努めました。

取り組み－7 学校情報通信機器の更新・充実

- ・ ICTを活用した教育環境を整備するため、次の取り組みを行いました。

①学校情報通信機器整備事業

パソコン等の情報機器について、男衾中学校を除く小・中学校で更新を行いました。なお、児童生徒が教室で使用する機器は、機能的な使いやすさを重視してタブレットパソコンを導入しました。また、教職員用機器においても、全学校で更新を行いました。

取り組み－8 学校図書館の充実

- ・ 学校図書館の充実のため、次の取り組みを行いました。

次のとおり、新たに学校図書館用図書を購入しました。

	購入冊数（冊）	金額（千円）
小学校	783	1,218
中学校	17	26

取り組み－９ 学校教材の充実

- ・ 学校教材の充実のため、次の取り組みを行いました。

①デジタル教科書導入

授業で活用するため、小学校の算数・社会、中学校の数学・社会においてデジタル教科書を導入しました。教科書を電子黒板やデジタルテレビに表示することで、児童生徒の視覚に訴え、理解を助けることができたと考えます。

また、多様な資料によって話し合いが展開しやすくなり、児童生徒が主体的な学び、対話的な学び、深い学びができる授業が展開されました。

②その他教材の購入

児童生徒の学習に必要な教材を新たに購入しました。

特に、平成２９年度は隔年で実施している理科教育等設備整備の年だった為、理科・算数の教材を整備しました。

一般教材費	金額（千円）	主な教材
小学校	2,380	オルガン、糸鋸盤等
中学校	1,295	社会の映像教材、柔道用畳等

理科教育等 設備整備費	金額（千円）	主な設備
小学校	2,250	顕微鏡、分数タイル等
中学校	2,543	顕微鏡、理科映像資料等

取り組み－１０ 子供たちの安全・安心の確保

- ・ 子供たちの安全・安心を確保するため、次の取り組みを行いました。

学校における交通安全教室の実施や登下校時の安全指導、学校応援団やスクールガードリーダー等、保護者や地域の方による登下校時の見守り活動などにより、交通事故防止や不審者対策に努めました。

取り組み－１１ 学校施設の耐震化の推進

- ・ 児童生徒の安全確保と災害に強い避難所として整備するため、次の取り組みを行いました。

①学校施設整備事業

地域の防災拠点でもある小学校の屋内運動場について、照明器具やバスケットボールゴールなどの非構造部材が落下しないよう耐震対策工事を実施しました。

平成２９年度に実施した非構造部材耐震工事 (単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
寄居小 桜沢小 折原小 鉢形小	屋内運動場非構造部材耐震工事	落下防止工 照明器具 100箇所 バスケットゴール 9対 スピーカー 18箇所 時計 3箇所	8,521

取り組み－１２ 学校施設の長寿命化

- ・ 学校施設の長寿命化のため、次の取り組みを行いました。

①学校施設維持管理事業

学校施設・設備等の安全確保のため、老朽化に伴う不良箇所及び法定点検での指摘箇所の修繕等を実施しました。

また、学校施設の長寿命化を図るため、経年劣化に伴う桜沢小学校屋上防水改修工事や城南中学校屋上防水・外壁改修工事等を実施しました。

小学校における主な維持管理事業

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
桜沢小	北校舎屋上防水改修工事	北校舎屋上防水工 一式 階段・便所屋根・小荷物昇降 機屋根防水工 一式	12,906
	高架水槽更新工事	高架水槽設置工 1基 配管工 一式	2,063
折原小	プールろ過ポンプ配管修繕工事	ろ過ポンプ配管修繕工一式	1,064
鉢形小	トイレ給水管更新工事	トイレ給水管更新工 一式 天井改修工 一式	494
男衾小	北校舎照明更新工事	照明器具更新工 86基	1,814
	遊具更新工事	シーソー更新工 4基	678

中学校における主な維持管理事業

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
城南中	屋上防水・外壁改修工事	改質アスファルト防水工 A=25 m ² 外壁吹付工 A=230 m ² ひび割れ補修工 L=53.5m	3,812
男衾中	非常階段改修工事	ブレス交換工 4箇所 ブレス新設工 2箇所 階段部塗装工 一式 踊場鉄板更新工 4箇所 非常誘導灯設置工 6箇所	2,538

取り組み－１３ 男衾中学校の建替え事業の推進

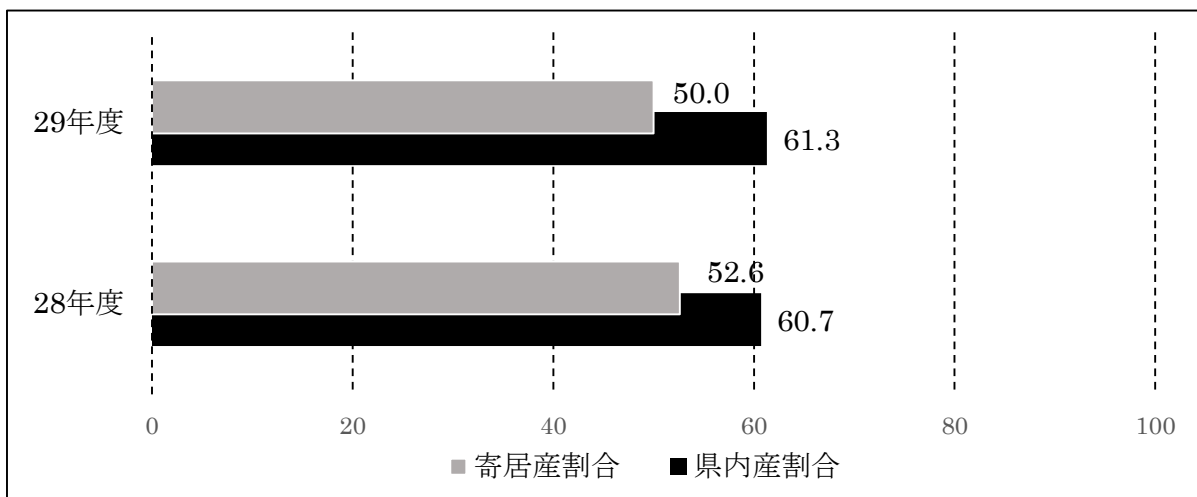
- ・ 男衾中学校の建替え事業の推進のため、次の取り組みを行いました。
 - ① 男衾中学校の建替えに関し、建替え準備作業の円滑な実施に資するため、男衾中学校建設準備検討委員会を組織して検討を開始しました。平成29年度においては、委員会を3回開催し、男衾中学校が目指す教育等について議論を行いました。

取り組み－１４ 学校給食の充実

- ・ 学校給食の充実のため、次の取り組みを行いました。
 - ① 給食センター運営事業
児童生徒の適切な栄養摂取による健康の保持増進などを図るため、小・中学校に、それぞれ年間186回（1日約2,500食）の給食を実施しました。
また、安全・安心な給食を提供するため、給食従事者を対象に給食衛生講習会、安全運転講習会、健康状態確認などを実施しました。
給食の食材については、野菜類をJAふかや男衾直売所を通じて発注し、地元産野菜の積極的な使用に努めました。

地元産割合（野菜類）

（単位：％）



食育の推進については、栄養教諭が児童生徒及び保護者等に対して「食」に関する指導を行い、健全な食生活を実践する大切さを伝えました。

また、ブータン王国や、姉妹都市である小田原市及び八王子市について、食を通じて理解を深めてもらうため、特産品等を利用した献立による給食を提供しました。

給食における食物アレルギーについては、引き続きすべての児童生徒の保護者に食物アレルギー献立表を配布して情報提供を行うとともに、アレルギー発症を防止するため、食物アレルギーのある児童の保護者に対し栄養教諭による個別相談等を実施しました。

② 給食センター施設維持管理事業

安定した給食の提供のため、施設の維持管理にも努めました。

主な修繕及び工事状況

(単位：千円)

事業名	事業費
貯湯槽安全弁及び煤煙濃度計投光器・受光器交換修繕	540
真空冷却機修繕	1,332
エアハンドリングユニット用フィルター交換修繕	713
温水洗浄便座取り付け工事	378

取り組みー15 学校運営の改善

- ・ 地域と共にある学校を目指し、学校運営協議会制度の設置を推進するために、寄居町学校運営協議会設置要綱を制定しました。

取り組みー16 就学援助制度の推進

- ・ 子育て世代の経済的負担を軽減するため、次の取り組みを行いました。

①学校教育振興事業

経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者に対して就学援助費等の制度の趣旨を周知し、学用品費等の支給を行いました。

なお、就学援助費については、29年度から従来の支給費目に新入学に必要な学用品購入のための新入学準備費を加え、入学前の3月に支給できるようにしました。

就学援助費等支給人数・支給額（小学校費）

（単位：人、千円）

区分	人数	支給額
①要保護及び準要保護児童就学援助費	158	8,862
②特別支援教育就学奨励費	17	464

就学援助費等支給人数・支給額（中学校費）

（単位：人、千円）

区分	人数	支給額
①要保護及び準要保護生徒就学援助費	107	12,001
②特別支援教育就学奨励費	10	426
③被災生徒就学援助費（①内数）	2	161
④被災生徒特別支援教育就学奨励費（②内数）	1	58
⑤遠距離通学生徒援助費	11	33

②私立幼稚園就園奨励費補助事業

私立幼稚園に子供が通う保護者の経済的負担を軽減するため、就園奨励事業を以下のとおり実施しました。

（単位：人、千円）

区 分	人 数	支 給 額
私立幼稚園就園奨励費	161	20,385

③修学資金補助事業

修学意欲を有しながら経済的に修学が困難な高校生に、以下のとおり学資金援助を行いました。

（単位：人、千円）

区 分	人 数	支 給 額
修 学 資 金	47	2,740

④給食費補助事業

多子世帯の経済的負担の軽減によって子育てを応援することを目的として、第3子以降の児童生徒に対する給食費補助を実施しました。

補助人数・補助額

(単位：人、千円)

区 分	人 数	補助金額
小 学 校	172	7,513
中 学 校	46	2,505
合 計	218	10,018

施策2 生涯学習環境の充実

取り組み-1 学習講座の開催

- 生涯学習環境の充実のため、学習講座の開催など次の取り組みを行いました。
 - ① 町民の文化の振興を目的に社会教育の場を提供するため、以下の事業を実施しました。

「出張美術館 in 寄居」作品点数及び来場者数

区 分	作品点数（点）	来場者数（人）
29年度	179	3,775
27年度	135	8,052
増 減	44	△4,277

「まちづくり出前講座」実施状況

区 分	実施回数（回）	受講者数（人）
29年度	31	873
28年度	31	929
増 減	0	△56

取り組み－２ 子どもたちの夢への支援（芸術・文化活動）

・子どもたちの夢への支援のため、次の取り組みを行いました。

- ① 子どもたちの芸術・文化活動を通じた夢の発見・夢の実現につながる場を提供するため、「子ども大学よりい」において人間国宝美術館（神奈川県）所蔵の作品鑑賞を行う内容を含む文化芸術分野の講義を実施しました。

区分	内 容	延べ参加者数（人）
29 年度	陶芸を学ぶ ・人間国宝美術館の作品に触れる（１日） ・自身で陶芸作品を創る（２日） 異文化を学ぶ ・沖縄三線を奏でる（１日）	79
28 年度	彫刻を学ぶ ・人間国宝美術館の作品に触れる（１日） ・自身で彫刻作品を創る（２日）	19
増 減		60

取り組み－３ 図書館の充実

・図書館運営事業として、次の取り組みを行いました。

- ① 日常開館業務

項 目	29 年度	28 年度	増減率(%)
入館者数	94,942 人	97,471 人	△2.6
登録者数	28,228 人	27,568 人	2.4
貸出人数	54,236 人	56,284 人	△3.6
貸出点数	262,788 点	259,251 点	1.4

※開館日数 28 年度 290 日、29 年度 291 日

② 図書館資料の整備・充実

項 目		29 年度	28 年度	増減率 (%)
図書を受入	購入冊数	4,934 冊	4,774 冊	3.4
	寄贈冊数	2,376 冊	1,078 冊	120.4
寄居関連図書を受入		204 冊	56 冊	264.3
視聴覚資料の受入	購入点数	103 点	76 点	35.5
	寄贈点数	1 点	0 点	皆増
雑誌の受入	購入等冊数	2,443 冊	2,466 冊	△0.9
除籍冊数	図書及び視聴覚資料	2,727 冊	1,350 冊	102.0
	雑誌	1,467 冊	13,638 冊	△89.2
蔵書冊数（年度末）	図書及び視聴覚資料	179,861 冊	174,970 冊	2.8
	雑誌	24,097 冊	23,121 冊	4.2
新聞の受入（紙数）		11 紙	11 紙	0.0
フリーペーパーの受入（タイトル数）		25 点	23 点	8.7

③ 移動図書館の運行

項 目	29 年度	28 年度	増減率 (%)
移動図書館	167 回	167 回	0.0
	45,251 冊	47,358 冊	△4.4

④ 図書館利用促進事業

項 目	29 年度	28 年度	増減率 (%)
図書館関連記事の新聞掲載	4 回	1 回	300.0
施設見学	11 件 (11 日間)	7 件 (7 日間)	57.1
	340 人	346 人	△1.7
職場体験、インターンシップ	2 件 (6 日間)	2 件 (6 日間)	0.0
	18 人	18 人	0.0
一日こども司書体験	11 人 (3 日間)	7 人 (3 日間)	57.1

⑤ 読書通鳥事業（1人当り平均貸出数）

項 目	29 年度	28 年度	増減率 (%)
小学校 1～3 年児童	34.1 冊	37.4 冊	△8.8
小学校 4～6 年児童	15.3 冊	15.8 冊	△3.2
中学校生徒	4.0 冊	3.8 冊	5.3

⑥ 主催、共催事業

項 目		29 年度	28 年度	増減率 (%)
おはなし会		21 回	21 回	0.0
		294 人	290 人	1.4
映画会	ミニシアター	12 回	12 回	0.0
		455 人	329 人	38.3
	子ども映画会	13 回	12 回	8.3
		312 人	322 人	△3.1
読書講演会		20 人	70 人	△71.4
石に絵を描いてみよう（2回開催）		62 人	62 人	0.0
宮城道雄の世界を訪ねて		71 人	70 人	1.4
図書館まつり入館者数		1,386 人 （3日間）	1,347 人 （2日間）	2.9
折り紙教室		31 人	9 人	244.4
朗読活動（図書館広報誌朗読録音）		3 件	4 件	△25.0
布絵本製作活動		3 点	2 点	50.0

⑦ リユース事業

項 目	29 年度	28 年度	増減率 (%)
寄贈・除籍図書のリユース市	1 回	1 回	0.0
何でもリユース 寄附のあった衣類、その他の生活 用品、おもちゃ等のリユースを実施	随時	随時	—

取り組み－４ 社会教育施設の維持管理

- ・ 社会教育施設維持管理事業として、次の取り組みを行いました。
 - ① 利用者の利便性向上のため、桜沢コミュニティセンター、用土コミュニティセンター及び生涯学舎の内階段の手すり設置並びに用土コミュニティセンターの大・小会議室の空調機器修繕を行いました。
 - ② 寄居町学童保育の会（用土学童）による行政財産使用のため、用土コミュニティセンターの環境整備を行いました。

取り組み－５ 中央公民館大規模改修

- ・ 利用者の安全を確保するためホール天井の耐震改修工事を実施したほか、空調機エアフィルター、消防用設備、排煙窓の交換修繕等を行いました。

施策3 スポーツ環境の充実

取り組み-1 生涯スポーツの推進

- 生涯スポーツの推進のため、次の取り組みを行いました。

① 学校施設開放運営事業

町民がスポーツに親しめる場や機会を提供するため、小・中学校9校の運動場、体育館、武道場を開放しました。

学校施設開放の利用状況

(単位：件、人)

学校名	29年度		28年度		利用件数	利用者数
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	増減率(%)	増減率(%)
寄居小学校	631	11,066	892	16,814	△29.3	△34.2
桜沢小学校	314	6,975	322	7,294	△2.5	△4.4
折原小学校	290	5,613	294	5,812	△1.4	△3.4
鉢形小学校	193	3,469	198	3,494	△2.5	△0.7
男衾小学校	439	8,164	413	7,440	6.3	9.7
用土小学校	454	10,589	471	10,801	△3.6	△2.0
寄居中学校	390	5,396	398	5,494	△2.0	△1.8
城南中学校	259	5,151	266	5,180	△2.6	△0.6
男衾中学校	341	7,140	353	7,297	△3.4	△2.2
合計	3,311	63,563	3,607	69,626	△8.2	△8.7

② スポーツ活動推進事業

多くの町民がライフステージに応じた様々なスポーツに親しめるよう、体育協会をはじめスポーツ競技団体と連携し、各種スポーツ大会や体験教室を開催しました。

保健体育事業の概要

(単位：人)

種別	29年度		28年度		事業数 増減率(%)	参加者数 増減率(%)
	事業数	参加者数	事業数	参加者数		
種目別大会	29	5,641	29	6,123	0.0	△7.9
審判講習会	3	171	3	190	0.0	△10.0
町体育協会 共催事業	4	1,243	4	1,510	0.0	△17.7
合計	36	7,055	36	7,823	0.0	△9.8

また、町民の体力向上と健康増進を図るため、町民健康増進ウィークを設け、プールの無料開放を7月15日から8月6日までの23日間実施し、延べ5,603人の利用がありました。

健康増進ウィーク事業の概要

(単位：人)

施設	29年度 利用者数	28年度 利用者数	利用者数増減率 (%)
アクアパラダイス・ パティオ（深谷市）	5,311	5,131	3.5
アクアピア（熊谷市）	292	403	△27.5
合計	5,603	5,534	1.2

取り組み－２ スポーツによる町の活性化

・スポーツによる町の活性化を図るため、次の取り組みを行いました。

- ① 東京マラソン2018において、16年ぶりにマラソンの日本新記録を樹立した設楽悠太選手の寄居町長表敬訪問に合わせた役場庁舎での歓迎セレモニーの実施や、2017世界柔道選手権で金メダルを獲得した新井千鶴選手による母校男衾中学校での柔道の授業と講演会を開催し、第一線で活躍する町出身アスリートと児童、生徒をはじめ多くの町民とが触れ合える場を設けました。

また、上記2名のほか、全国大会等へ出場した選手の激励と紹介、さらには広く町民へのスポーツ参加意欲の高揚を図るため、庁舎に懸垂幕を掲出しました。

懸垂幕等掲出事業の概要

(単位：本)

種 別	29 年度	28 年度	増減率 (%)
懸 垂 幕	12	12	0.0
横 断 幕	0	1	△100.0
合 計	12	13	△7.7

取り組み－３ 子どもたちの夢への支援（スポーツ）

・子どもたちの夢への支援のため、次の取り組みを行いました。

- ① 教育委員会と町内施設の指定管理会社(アイル・コーポレーション株式会社)との共催事業として、平成29年度は、埼玉県を拠点として日本女子プロ野球機構に所属している埼玉アストライアの皆さんを講師として招き、「寄居町少年少女野球教室」を開催しました。野球教室には町内のスポーツ少年団に所属している40名の少年、少女が参加し、女子プロ野球選手の技術を目の当たりにしながら、守備練習やバッティング練習等を行いました。最後には選手からサインをもらい、一緒に記念撮影するなど、参加した子どもたちにとって貴重な体験となりました。

取り組み－４ スポーツ施設の充実

- ・ 寄居運動公園維持管理事業として、施設の運動環境整備を実施すると共に、総合体育館維持管理事業として、受電設備の機器更新やアリーナ雨漏り修繕などを実施し、施設の機能保全に努めました。

寄居運動公園・総合体育館等の利用状況

(単位：件、人、千円)

施設名	29年度			28年度			増減率(%)		
	利用件数	利用者数	利用料	利用件数	利用者数	利用料	利用件数	利用者数	利用料
総合体育館・アタゴ記念館	1,932	66,912	192	2,000	57,005	199	△ 3.4	17.4	△ 3.5
寄居運動公園	2,204	32,488	749	2,292	32,931	862	△ 3.8	△ 1.3	△ 13.1
グラウンド	171	9,645	272	160	10,648	334	6.9	△ 9.4	△ 18.6
テニスコート	975	7,608	328	995	6,975	331	△ 2.0	9.1	△ 0.9
カタクリ体育センター	728	7,872	149	759	7,952	197	△ 4.1	△ 1.0	△ 24.4
自由広場	330	7,363	－	378	7,356	－	△ 12.7	0.1	－
寄居小学校夜間照明運動場	99	3,150	0	163	5,161	5	△ 39.3	△ 39.0	△ 100.0
計	4,235	102,550	941	4,455	95,097	1,066	△ 4.9	7.8	△ 11.7

取り組み－５ スポーツ活動団体の支援

- ・ スポーツ活動団体の支援のため、寄居町体育協会及び寄居町スポーツ少年団本部への補助金交付や、町民ハイキング、駅伝競走大会、スポーツレクリエーション大会など、両団体の各種主催事業の運営支援を行いました。

施策4 青少年の健全育成

取り組みー1 地域ぐるみの育成支援

- ・ 地域ぐるみの育成支援として、次の取り組みを行いました。

① 家庭教育支援事業

保護者の教育力向上と保護者同士のネットワーク形成のための家庭教育学級及びすこやか子育て講座を実施しました。

「家庭教育学級」の参加者数 (単位：人)

区分	寄居	桜沢	折原	鉢形	男衾	用土	合計
29年度	77	162	73	44	111	53	520
28年度	104	196	98	42	114	71	625
増減	△27	△34	△25	2	△3	△18	△105

「すこやか子育て講座」の参加者数 (単位：人)

区分	寄居	桜沢	折原	鉢形	男衾	用土	合計
29年度	40	27	8	49	69	31	224
28年度	41	40	16	39	72	28	236
増減	△1	△13	△8	10	△3	3	△12

② こどもの居場所づくり事業

こどもの居場所づくり支援として、次の取り組みを行いました。

「こどもギネス大会」(なわとび)の参加者数 (単位：人)

区分	前とび	前二重	後とび	こうさ	前三重	集団	8の字	合計 (延べ数)
29年度	430	191	184	105	7	514	521	1,952
28年度	495	185	207	121	7	487	589	2,091
増減	△65	6	△23	△16	0	27	△68	△139

「子ども博士検定」の参加者数

(単位：人)

区分	寄居	桜沢	折原	鉢形	男衾	用土	合計	博士
29年度	4	4	4	6	7	2	27	6
28年度	5	9	4	4	14	5	41	2
増減	△1	△5	0	2	△7	△3	△14	4

③ 社会教育団体支援事業

青少年健全育成事業の取り組み

団体名	取り組み	成果
寄居地方ユネスコ協会	「第12回わたしの町のたからもの」絵画展	436点出品 54点入選
寄居町PTA連合会	家庭教育委員会 進路対策委員会	3回 2回
寄居町青少年健全育成町民会議	青少年の非行・被害防止特別強調月間キャンペーン 視察研修会（多摩少年院） 道徳講演会・実践発表会	101人参加 啓発品1,200個配布 12人参加 235人参加
青少年健全育成協議会（3中学校区）	防犯パトロール 祭り巡視活動 教育講演会	通年 7回 5回

取り組みー2 いじめ対策の強化

- ・ いじめの未然防止や早期発見、いじめに対する措置等のため、次の取り組みを行いました。

① いじめ問題対策連絡協議会の実施

いじめ問題対策連絡協議会を2回実施し、いじめ問題に対する各校の取り組みについての情報交換や「いじめの問題に関する指導者養成研修」への参加者によるいじめ問題に関する最新情報の伝達を行うことで、いじめ問題に対する認識の共有化を図るとともに各校の取り組みを見直すきっかけとすることができました。

取り組み－3 インターネット使用ルールの作成

- ・ 取り組み－2 いじめ対策の強化の一環として実施しました。

① インターネット使用ルールの作成

町内小学校の代表委員と中学校の生徒会役員による児童生徒協議会において「相手を思いやるインターネットのよりよい使い方」について話し合い、それをもとに、「インターネットの使用ルール」を作成しました。

各校では授業参観日等に「インターネットの使用ルール」のリーフレットを配布し、家庭でインターネットの適切な使い方について話題にしてもらうよう呼びかけしました。

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

「活躍の場の充実」

【異なる国や地域、文化との交流を図り、そこで培われた町民の力を地域の課題解決に活かす場を充実させます。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

- 「1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進」
- 「4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進」
- 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

施策1 多様な人の活躍・地域貢献活動の支援

取り組みー1 ボランティアの人材育成

- ・ 鉢形城公園内の案内をするボランティア案内人を募集し、解説など人材育成のため、計5回の研修を実施しました。また、案内人の活動実績は次のとおりで、依頼者の評価が高いことから、ボランティアの利用者数や出役数が伸びています。

ボランティア案内人による案内解説活動状況

項目	29年度	28年度	増減
利用団体数	86	90	△4
利用人数	1,913	1,581	332
案内人出役総数	160	152	8

取り組みー2 寄居うん蓄の発掘・ストック

- ・ 分野を問わず、優れた知識・技能・経験・文化的素養等を郷土寄居の文化振興のため、奉仕の精神をもって他者に伝える意欲のある人を発掘・ストックすることを目的に、寄居生活学の達人の登録と更新手続きを行いました。

区分	新規登録者数	更新前人数	更新後人数
29年度	0	56	40

施策 2 地域間交流・国際交流の推進

取り組みー1 メアリーズビル市との交流

- ・ 米国メアリーズビル市との交流として、次の取り組みを行いました。

① 中学生海外相互交流事業

米国オハイオ州メアリーズビル市から生徒を迎え、町の文化や教育に対する理解を深めてもらうため、町内中学生の家庭でホームステイを行いました。

受入人数	16人（12歳～16歳）
受入期間	7月8日～16日 9日間
ホストファミリー	16家庭（寄居中7家庭、城南中2家庭、男衾中6家庭、協力1家庭）
体験内容	ホームステイ。中学校体験（3日間）。 オリックス資源循環工場、ホンダ寄居工場及びその他 町内外の施設の見学

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

「一人ひとりを尊重する地域づくり」

【一人ひとりがお互いの権利を尊重し、性別・年齢・国籍・障害の有無などによるバリアを感じることなく、自分らしく社会に参画できる地域づくりを進めます。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

「2. 豊かな心と健やかな体の育成」

施策1 人権尊重と相互理解の促進

取り組みー1 人権教育・啓発の推進

- ・ 人権尊重社会の実現に向け、人権に対する正しい理解を深めるため、次の取り組みを行いました。

① 人権教育推進事業

同和教育をはじめとする人権教育の推進、人権尊重精神の高揚のため、人権教育推進協議会を中心に以下の研修会や講演会を実施しました。

人権教育研修会参加者数

(単位：回、人)

研修名	29年度		28年度		参加者増減
	回数	参加者	回数	参加者	
人権教育指導者養成講座	1	108	1	100	8
地区別人権教育研修会	16	714	16	755	△41
教職員人権教育研修会	11	316	10	307	9
対象者別人権教育研修会等	10	450	10	410	40
合計	38	1,588	37	1,572	16

毎年3月に発行する人権教育啓発広報誌「みんなのねがい」では、日頃から感じている人権問題や今後の課題について考える機会を提供するため、29年度に実施した「人権問題に関する町民意識調査」の調査結果等を掲載し、毎戸配布しました。

② 集会所運営事業

集会所事業において、小・中学生学級では、教科学習、人権学習、体験学習及び大里郡子ども会スポーツ交流会への参加を通じた学力向上や仲間づくりにより、人権を大切にする児童生徒の育成に努めました。

また、女性学級では、教養文化の向上と地域・世代間交流を深めるため、健康教室や生け花教室、3B体操を実施しました。

集会所事業実施回数及び参加者数

(単位：学級、回、人)

	事業名	学級数	実施回数	参加者
29年度	集会所学級（小学生、中学生、女性）	6	117	1,064
28年度	集会所学級（小学生、中学生、女性）	6	119	1,106
増減		0	△2	△42

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

「歴史の継承、文化の振興」

【史跡や文化財などの歴史資源の保護とともに、祭りや伝統行事を継承し、歴史や文化的な豊かさを感じられるまちを目指します。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

施策1 歴史資源の保護・継承

取り組みー1 歴史と文化を活かしたまちづくり

- ・ 歴史と文化を活かしたまちづくりを進めるために、文化財を次のとおりに適切に保存・管理しました。また、史跡鉢形城跡の全体測量及び伝逸見曲輪の確認調査を実施し、鉢形城跡の解明の一助とすることができました。

① 町内遺跡発掘調査事業

開発行為等に伴う試掘調査の結果と保護措置

(単位：件)

試掘調査	結果	保護措置	内容
43	遺構等検出 12	発掘調査の指示 2	発見された遺構等の現状保存が不可能なため発掘調査
		工事立会いの指示 10	発見された遺構等を保存するために必要な措置を講じた上、工事立会い
	遺構等未検出 31	慎重工事の指示 31	遺構等が発見されなかったため、慎重工事

発掘調査件数

内 容	発掘調査遺跡名	件数
記録保存のための発掘調査	露梨子遺跡（7次）・東原遺跡（3次）	2
遺跡範囲確認及び地形測量調査	史跡鉢形城跡	1

報告書刊行にかかる業務

内 容	発掘調査遺跡名	件数
発掘調査結果の整理及び報告書刊行	中山遺跡（4次）・寄居廃寺（5次）	2

取り組みー2 鉢形城公園の維持管理・活用

- ・ 鉢形城公園を活用し、地域へ愛着と誇りを持ってもらえるよう、次の取り組みを行いました。また、史跡鉢形城跡の確認調査成果を公表するため、歴史講演会を実施し、鉢形城の魅力をアピールしました。

普及活動

（単位：人）

名 称	参加者数	内 容
若葉の会	307	鉢形城歴史館中庭で、生田流箏の会と裏千家高橋宗房社中と共催で箏の演奏と野点を開催
お月見の会	約 500	鉢形城公園三の曲輪で、生田流箏の会と裏千家高橋宗房社中と共催で箏と尺八の演奏と野点を開催。また開催に合わせ、新たにボランティア案内人による城内案内を実施しました。
歴史講演会	80	鉢形城跡発掘調査の成果を公表するために、「謎解き鉢形城～鉢形城跡発掘調査報告会～」を開催
体験教室	67	小学校の長期休暇期間中に合わせて、勾玉づくりと灯笼づくり、及び土器づくり体験を実施
エドヒガンザクラのライトアップ	—	町指定天然記念物「鉢形城の桜・エドヒガン（氏邦桜）」の開花に合わせ、3月18日から4月10日まで夜間にライトアップを実施

取り組み－3 史跡鉢形城跡保存整備の推進

- ・ 史跡鉢形城跡保存整備の推進のため、次の取り組みを行いました。

鉢形城跡保存整備事業

事業名	回数	内 容
鉢形城跡保存整備委員会	2	第2期保存整備事業の初年度の調査対象である伝逸見曲輪の発掘に当たり、トレンチ計画の指導等を受けた。
		今年度の発掘調査成果を説明した結果、伝逸見曲輪の性格を解明するため今後補足の調査が必要であると指導を受けた。
鉢形城跡発掘調査指導委員会	2	調査経過の報告と調査手法の指導を受けた。
		調査成果を確認し、石敷排水溝と通路を追っていくことで、伝逸見曲輪の虎口（入口）を確認できることから、来年度以降で調査するよう指導を受けた。

取り組み－4 鉢形城歴史館の管理・運営

- ・ 鉢形城歴史館の魅力ある展示やイベントの開催など管理運営を行いました。

鉢形城歴史館利用状況

項目	29年度	28年度	増減
入館者数（人）	18,602	20,189	△1,587
有料入館者	13,222	14,682	△1,460
無料入館者	5,380	5,507	△127
入館料（円）	2,517,500	2,832,400	△314,900

企画展

(単位：人)

展覧会名	内 容	期 間 (日間)	
後北条氏の 庭園 — 出 土遺物を中 心に —	八王子・小田原両市との姉 妹都市盟約を記念し、小田 原城御用米曲輪及び八王 子城御主殿跡の出土品を 展示	29年4月1日～29年5月14日	
		入館者数	3,779
町指定文化財 公開展	平成29年2月に新たに指 定された正龍寺文書の調 査成果とともに、寄居町指 定文化財の一部を展示	29年10月7日～29年11月5日	
		入館者数	1,592
鉢形城その後 — 開城後の 鉢形城 —	開城後の鉢形城をテーマに 城跡や県内の陣屋などの 出土品や、昌国寺の旗本水 野家ゆかりの資料などを 展示	30年3月17日～30年3月31日	
		入館者数	1,066

施策2 伝統文化の継承

取り組みー1 地域の伝統行事の保護・継承

- ・ 地域の伝統行事の保護・継承のため、次の補助事業を行いました。

町指定文化財補助事業

補助金名称	補助団体数	内容
寄居町指定文化財管理等補助金	5	町指定無形民俗文化財の後継者育成と伝承確保のために、同文化財の保存会等へ補助金を交付
寄居町指定文化財管理等補助金	1	県指定天然記念物「ゴヨウツツジの自生地」の公開環境の維持管理のために補助金を交付

施策3 文化活動の充実

取り組みー1 合同開講式の開催

- ・ 生涯学習機会の向上を図るため、公民館講座事業として合同開講式をはじめ、町民の要望に応じた各種講座・教室を開催しました。

講座・教室等の概要

種 別	講座・教室数	参加者（人）	事業費（千円）
I T	5	194	140
音楽	1	104	35
外国語	1	174	100
料理	4	182	65
芸術・文化	6	467	212
子育て支援	1	17	0
健康増進	5	381	182
合計	23	1,519	734

取り組みー2 文化講演会の開催

- ・ 文化活動の充実のため、次の取り組みを行いました。

① 文化事業

事業名	内 容	成 果
文化講演会	6月4日 中央公民館 舞の海秀平 「可能性への挑戦」 ～夢は必ずかなう～	524人参加

② 公民館運営事業

映画「じんじん」上映実行委員会を組織し、映画館のない市町村でも上映可能な「スローシネマ方式」による上映会を実施しました。

なお、中央公民館の年間利用者数は、以下のとおりです。

中央公民館利用者数 (単位：人)

	年間利用者数
29年度	68,454
28年度	71,902
増減	△3,448

取り組み－3 文化活動団体への活動支援

- ・ 文化活動団体への活動支援のため、次の取り組みを行いました。

① 文化団体支援事業

文化団体連合会と文芸懇話会について、団体の活動支援として会の運営に必要な補助金を交付しました。

事業名	内容	成果
文化団体連合会支援事業	加盟団体の活動の集約として 文連たより（52号）の発行 産業文化祭参加	530部発行 10団体参加 523点出品
寄居文芸懇話会支援事業	寄居文芸の発行（121～123号）	910部発行

② 公民館運営事業

生涯学習まつり参加団体及び利用団体協議会加盟団体数 (単位：団体)

	作品展示	ステージ発表	合計	加盟団体
29年度	39	63	102	60
28年度	43	64	107	63
増減	△4	△1	△5	△3

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

「自然資源の保全・継承」

【美しい山並み、水の循環、多様な動植物の生息・生育環境など、町の誇りであり貴重な財産である豊かな自然環境を保全・継承します。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

施策1 自然環境の継承

取り組みー1 健全な自然環境・緑の保全

- ・ 自然環境保全のため、ミミカキグサやモウセンゴケの生育環境保全を行った。

天然記念物保護増殖事業

名 称	内 容
県指定天然記念物「ミミカキグサとモウセンゴケ自生地」保護増殖事業	環境整備作業、埼玉県文化財保護審議会委員視察

株数の変化

区 分	モウセンゴケ株数	自生面積(m ²)	自生圃場数
29年度	68	0.5	3
28年度	64	0.5	2
増 減	4	0	1

IV 結びに

識者の評価並びに意見・提言（識者：鳥塚富弥氏）

教育委員会では、平成29年度からの第6次寄居町総合振興計画をもとに、「真の学ぶ力を身につけた未来を拓く人づくり」を基本理念として、計画的に様々な事業を展開されました。まず、各事業について評価を行い、その後意見・提言を記述いたします。

1 評価

(1) 成長と学びの環境の充実

ここでは、施策1に「学校教育と教育環境の充実」をあげています。今後の日本、寄居町の創り手となることが期待される子供たちが、未来社会において自立的に生き、社会の形成に参加するための資質・能力を確実に身につけるために、学校教育の充実は欠かせないことであり、それを支える教育環境の充実も大切です。

まず、取り組み1の「確かな学力の育成」では、アクティブラーニングを取り入れた指導方法に取り組んでいます。児童生徒が受け身の学習では、なかなか自立的な生き方が生まれません。この方針はとても良いと思います。また、放課後サポートスクール事業を昨年度から始めています。授業内容を理解できないまま帰宅し、このことが学力の低下だけでなく学校嫌いの児童が生まれる原因である場合もあります。ここで30名のサポーターが放課後きめ細かな指導を行っていくことは、大きな成果が期待できると思います。一般社会生活に必要なかけ算の習得に大きな成果があったことも良かったと思います。中学校3年生には、土曜塾を行っています。学習意欲の喚起や学習習慣の定着につながり、偏差値も向上しているという良い結果になっていると思います。さらに本年度は学級満足度や学校生活意欲度を把握するテストも実施しています。いじめなどもなく意欲のある子が多い学級は、学力向上につながります。新しい事業の今後の成果に期待しています。

取り組み2の「英語教育の推進」では、ALTを活用し、小学校教員むけの外国語活動研修会や英会話研修を実施しています。新学習指導要領の小学校英語の授業の実施には小学校教員の不安もあることで、タイムリーな事業を行って頂いたと感じます。中学校英語検定無償化により、受検者も3級以上取得者

が大きく増加したことで、良い成果が見られていると思います。

取り組み3の「小中一貫教育の推進」では、平成29年度に検討委員会を立ち上げていただきました。大きな事業の前に各方面の意見を聴取することは大切です。

取り組み4の「健やかな体づくり」では、体力向上推進委員会を中心として取り組み、10年連続でトップクラスの体力を維持していることは、寄居町として誇れることだと思います。校庭芝生化やグラウンド改修にも積極的に取り組んで頂きました。特にグラウンドは、社会体育や地区体育祭でも使う地域に密着したものであることから、この改修は大変に良かったものと考えます。

取り組み5の「インクルーシブ教育の推進」では、教育サポートセンターでの取り組み、学校サポーターの配置、検査実施による個に応じた支援を行っています。通常の学級において、障害のある子も含め一人一人の教育ニーズにあった教育を行うことは、時間も人も予算も必要となってくるものですが、手厚く積極的によく取り組まれていると思います。

取り組み6の「教職員の資質向上」では、学力向上推進委員会の実施で情報交換を行ったり、夏期休業中の研修会の工夫を行っています。取り組みは良いのですが、寄居町は学校数がさほど多くないことから、連携がしやすい利点と情報量が少なく視野が狭くなりがちな欠点を併せ持つこととなります。継続した工夫が望まれます。指導委員についても、指導する立場と受ける立場をより多く経験することで資質向上を図るねらいは達成できていると感じます。

取り組み7の「学校情報通信機器の更新・充実」では、ますます情報化が進む現代、その時代にあった機器に更新していくことは避けて通れぬものであり、タブレット化など、先を見越してよく取り組まれていると思います。

取り組み8の「学校図書館の充実」では、本年度も小学校を中心に購入されました。学校図書館図書標準の蔵書数と比べると、小学校では98%、中学校では111%の充足率になっているようですので、是非小学校でも100%の実現を目指してもらえたらと思います。

取り組み9の「学校教材の充実」では、一般的な学習教材の他にデジタル教科書の導入をされました。紙よりも教育的効果が高い分野に積極的に使っていくなど、文科省の方針に沿って先進的に取り組まれている事がわかりました。

取り組み10の「子供たちの安全安心の確保」では、今までと同じく、学校で指導するだけでなく保護者や地域の人の見守りの協力を推進しています。幸

い近年町内での大きな事件・事故は発生していませんが、これを継続するため町民のボランティア力との連携を今後も図ってほしいと思います。

取り組み 1 1 の「学校施設の耐震化の推進」では、児童生徒の安全確保と安全な避難所作りのために、施設を計画的に補修工事をされていることがわかりました。今後も複数の目を見て、隠れた危険箇所をなくすようにしてほしいです。

取り組み 1 2 の「学校施設の長寿命化」では、維持管理事業を計画的になされていることがわかりました。漏水等があると他の部分の老朽化も進めてしまいます。これからも計画的に、早めの処置を施して頂けたらと考えます。

取り組み 1 3 の「男衾中学校の建て替え事業の推進」では、建設準備検討委員会をつくり検討を始めていただきました。大きな事業の前に十分な検討がなされますよう期待しております。

取り組み 1 4 の「学校給食の充実」では、給食センターの運営に安全・安心な給食提供を掲げ、講習会や検査、施設修繕を積極的に行って頂いています。全国をみると時々食中毒の報道もされます。引き続いて細心の注意をお願いします。給食の野菜に地元産を増やしていることも評価できます。ブータンや姉妹都市の特産品を取り入れた献立も教育的効果が大きいと考えます。食物アレルギーの児童生徒は増えておりますので、配慮した運営を引き続きお願いします。

取り組み 1 5 の「学校運営の改善」では、学校運営協議会の設置を推進していることがわかりました。地域の目を一層学校に結集するきっかけともなる協議会の充実を指導していただけたらと考えます。

取り組み 1 6 の「就学援助制度の推進」では、子育て世代の経済的負担を軽減するいくつかの取り組みをされました。新入学準備費を3月中に支給したことなどは、細かな点ですが温かい配慮だと感じます。経済的な理由で修学が困難な家庭、就園・就学に援助が必要な家庭へは、今後もできるだけの補助をお願いします。第3子以降の給食費を補助する施策を行ったことは、少子化対策という意味でもよい取り組みと思います。

施策 2 では「生涯学習環境の充実」をあげています。それぞれ前年度と比較した数値を表にしてあるので見やすくなっています。

まず取り組み 1 の「学習講座の開催」では、工夫した学習講座を行っています。「出張美術館 in 寄居」は、一昨年度と比べ来場者が半減してしまいました。

良い作品が展示してあったのに、残念でした。原因と対策を考え次につなげて頂きたいと考えます。「まちづくり出前講座」はよく行って頂いていると感じます。

取り組み2の「子どもたちの夢への支援」では、「子ども大学よりい」の実施により陶芸鑑賞、沖縄三線体験を実施しています。貴重な体験だったろうと感じました。

取り組み3の「図書館の充実」では、通常の貸出業務、資料の整備、移動図書館、お話し会等の主催事業を行っていることがわかりました。誰にも読書の機会を提供できる図書館の充実は重要です。入館者はやや減少しましたが、登録者数や貸出数は増加し着実に運営がなされていることがわかります。図書の蔵書数を充実させるのに、購入をしっかりと行うだけでなく、本年寄贈図書が多かったようです。今後も蔵書を増やす工夫をしてほしいと感じました。寄居町関連図書の受け入れが大変増えたことも好ましく感じました。移動図書館を楽しむにしている子どもたちも多く、この事業は継続してほしいと感じています。主催・共催事業も工夫されていますが、平成29年度に参加者が増えたミニシアターや折り紙教室等、事業の良い面を広げて頂ければと感じました。

取り組み4・5の「社会教育施設の維持管理」「中央公民館大規模改修」では、生涯学習施設の老朽化対策で計画的に修繕改修を行っていることがわかりました。限られた予算の中、順次整備をしていくことが大切と感じました。

施策3では「スポーツ環境の充実」をあげています。小・中学校9校の学校施設開放、運動公園・総合体育館の利用促進などに継続的に取り組まれていることがわかりました。しかし、学校施設開放の利用件数も利用者も減っておりスポーツ大会参加者も減っています。ただ深谷市のプール利用や総合体育館の利用などは増えており、これが単年度だけの変化なのか、それとも少子高齢化等が影響しているのか見極める必要があります。町出身の第一線で活躍するアスリートとのふれあいや、全国大会で活躍した選手を激励する懸垂幕はスポーツ振興に役立つと感じます。

施策4では「青少年の健全育成」をあげています。青少年の健全育成は、家庭の協力がなくては成果が出にくいものです。各小学校で家庭教育学級を行ったり、就学時にすこやか子育て講座を行うことは、保護者の教育力向上に大きな意味があると感じます。今後も継続して頂きたい事業です。「子どもギネス大

会」は各種縄跳びの技を競い合う大会ですが、自主的に練習する態度を育てたり仲間作りを推進する意味でよい事業だと感じます。毎年多くの小学生が参加しているようです。「子ども博士検定」は、あまりに参加者が少なくなり、ややマニアだけの参加となってしまった感もあり、事業を再考する必要があると感じます。広く町のことを知ってもらい、町を愛する心を育てることがねらいとすれば、多くの参加者が集える工夫が必要と思います。社会教育団体への支援は、教育委員会の大切な仕事と考えます。援助だけでなく必要に応じて指導を加えることも大切と感じます。いじめは油断するとすぐに芽生える困難な課題です。青少年健全育成協議会等の取り組みにより指導者の認識を高め、意図的な指導を常に加え続けて頂きたいと感じます。

(2) 活躍の場の充実

施策1では「多様な人の活躍・地域貢献活動の支援」をあげています。日本百名城の一つであり寄居町の誇れる史跡である鉢形城公園内を案内するボランティアの利用者数が伸びていることはうれしいことです。案内人がいることで訪問者の理解が深まり、訪れた満足感が生まれます。また、案内人自身の充実感・達成感にもつながることから、このボランティア育成にも力を注いで頂きたいと思います。また、生活学の達人として、優れた知識・技能・経験・文化的素養を伝える人材は貴重です。隠れた人材の発掘を引き続き行って頂き、その活用も図ってください。

施策2では「地域間交流・国際交流の推進」をあげています。視野の広い町民を育てていくことは今後の町の発展に重要であり、外国の異文化と接することもその方法の一つです。中学生のホームステイ体験は継続してほしい内容です。

(3) 一人ひとりを尊重する地域づくり

施策では「人権尊重と相互理解の促進」をあげています。現在も様々な人権課題がありますが、これに対処するためには町民一人ひとりの人権意識を高めていく必要があります。平成29年度も指導者養成講座や各種研修会を実施していただきました。また、平成29年度に実施した町民意識調査では、4年前より人権問題に関心がある町民は約6%増加しました。毎年の研修会の成果とも言え、今後も継続した取り組みが望まれます。集会所学級も適切に実施され

ていると感じました。

(4) 歴史の継承、文化の振興

施策1では「歴史資源の保護・継承」をあげています。古代からの遺跡が見られ、また戦国時代の名城があったということは、寄居町民の地域愛にもつながっているものです。現在の町民は、その歴史資源を保護すると同時に、次の世代に引き継ぐ義務があると思います。町内遺跡や鉢形城跡を発掘調査し、報告書の刊行や鉢形城跡の確認調査成果を公表するための歴史講演会を行っています。また、鉢形城公園で催し物を行うほか鉢形城歴史館では3つの企画展を行って頂きました。これらの事業は、町民には地域の魅力を再認識してもらうことになり、外部の方には寄居をアピールできる良い機会になっていると感じました。

施策2では「伝統文化の継承」をあげ、6つの団体に補助金を交付しています。広報活動を行うことで、団体の活動に対し町民の理解が深まると感じました。

施策3では「文化活動の充実」をあげています。公民館事業で23の講座・教室を実施していただきました。健康増進などの講座に大幅に参加者が増加していると感じました。今後も町民のニーズにあった講座を実施し、生涯学習を充実させていただくようお願いします。また、舞の海さんを招いた文化講演会や映画「じんじん」など工夫した活動も魅力的です。今後も、文化団体への活動支援や団体の発表の場である生涯学習まつりを行うことで、団体の活動を促し町民に心の充実感を与えられることにつながると感じました。

(5) 自然資源の保全・継承

施策の「自然環境の継承」では、ミミカキグサとモウセンゴケの生育環境保全を行い、株数が増えていることがわかりました。町民の関心が持てる広報が行えると良いと感じました。

2 意見・提言

1の評価に記したように、教育委員会は基本理念のもとに様々な事業を行い、全体的に大きな成果を出していることがわかりました。そこで、さらに「未来

を拓く人づくり」に向け成果を上げて頂くために、お願いしたいことを記します。

(1) より連携した取り組み

すでに、子どもたちの安全確保のために学校応援団等の地域の協力を得たり、町内施設の指定管理会社との共催で野球教室を行ったり、公園内案内にボランティアを活用したり、寄贈図書を活用したりと、様々、連携した取り組みが行われています。これをさらに充実して頂ければと考えます。

学校図書館を補完するための町立図書館活用とか、町民IT講座に最新の学校パソコンを利用すること等も考えられますが、教育委員会の中の課の連携が必要ですし、鉢形城跡の事業では教育委員会以外の課との連携が必要です。学校教育の充実のために町民の力を入れるとすれば、町内の各種団体との連携を行い、学校に紹介していく取り組みも必要になると思います。積極的に連携を進め、つなぐ役割を果たして頂ければと思います。

(2) 長い視野での取り組み

野菜作りは、播種から結実までには、施肥・害虫駆除を行いながら見守りの姿勢が必要です。人づくりでは、より長い視野が必要と考えます。事業を行ってもすぐに結果が出るものばかりではありません。例えば「確かな学力の育成」として多くの施策で取り組まれています。結果がすぐに出にくいかもしれませんが、この場合、見守りながら事業を継続し、施肥・害虫駆除を行うよう軌道修正をして育成する、長い視野が必要と思います。また、施設・設備の改修や管理なども長期的視野に立った判断が必要なことです。是非、様々な意見をくみ上げ、継続することによって生み出せる効果について判断をお願いします。

(3) 変化に対応する取り組み

アクティブラーニングの指導を取り入れたり、小学校英語への対策を行ったりして新学習指導要領に対する早めの対策を行うなど、教育委員会は、変化に対応した取り組みをすでに行っています。しかし変化は国の施策だけでなく、生涯学習講座内容についての町民ニーズの変化、スマホいじめ等青少年健全育成上の変化等、一般町民にも児童生徒にも様々な変化が起こってきます。

変化に対し、何を変え、何を変えないかの判断は難しいことではありますが、変えるべきと判断したことには、躊躇なく積極的な取り組みを行って頂きたいと願っております。

教育委員会としてのまとめ

平成29年度は、「第6次寄居町総合振興計画基本構想」がスタートし、教育委員会では、基本構想の考え方をベースに「真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり」を基本理念として、5つの教育行政重点施策に取り組みましたが、その中でも「1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進」及び「2. 豊かな心と健やかな体の育成」には特に力を入れて取り組みました。

学校教育面においては、確かな学力を育成するために、主体的な学び、対話的な学び、深い学びができるアクティブラーニングを取り入れた指導方法により、一方通行の授業でなく児童生徒が積極的に参加する授業に力を入れてきました。また、小学校において放課後サポートスクールによる指導を行ったり、中学校3年生対象の土曜サポートスクールは、民間学習塾の講師による指導を行い、学力向上に力を入れてきました。

グローバル化に対応できる英語教育の推進においては、小学校からALTが授業に参加し、更に、担任教員がALTを活用する授業が出来るよう、教員の英会話研修なども実施しました。中学校では英語検定無償化事業を活用して積極的に英検を受験するよう生徒に働きかけ、意欲向上を図りました。

学校教育環境においても、パソコン等の情報機器の更新に合わせて、普通教室等における様々な授業にも活用できるようにタブレットパソコンを配備するなどICT教育環境の充実を図りました。

このように、確かな学力の育成に取り組んで参りましたが、今後も継続的に様々な取り組みを強化していく必要があると考えます。評価者からも、野菜作りを例に、「長期的視野に立った判断が必要」という意見をいただきました。確かに、こちらが思い描くように結果が付いてくるとは限りません。いただいた意見のように、「見守りながら事業を継続し、施肥・害虫駆除を行うよう軌道修正をして育成する」という努力を続けなければならないと考えます。

一方、体力面で、埼玉県トップレベルの体力調査結果を維持していることは、各学校が積極的に取り組みを行って来た結果だと考えます。また、平成29年度は、スポーツ界の第一線で活躍する寄居町出身のアスリートによる講演会を行うなどスポーツに対する意欲高揚に繋げる事業にも取り組むことが出来ました。

生涯学習の面においては、出張美術館をはじめ、様々な学習講座の開催など社会教育の場を提供しました。事業を行うに当たっては、町民の皆様の要望に応えられるよう内容を見直すなど改善に努めながら実施しました。結果は、文化講演会のよ

うに中央公民館大ホールを満席にした事業もありましたが、出張美術館は来場者数が大幅に減少するなど、課題も残りました。

また、図書館事業の充実や史跡鉢形城跡の調査事業、活用事業にも取り組み、鉢形城公園で秋に実施した「お月見の会」は、天気にも恵まれて大勢の方に楽しんでいただくことが出来ました。

国際交流の推進においては、米国メアリズビル市との交流として、メアリズビル市から 16 人の生徒を迎え、町内中学生の家庭でホームステイを行いました。町の中学生にとっても米国から来た同年代の若者たちとの交流は貴重な経験になっていました。

今、時代の変化は加速度的に速くなっており、一般町民や児童生徒を取り巻く環境も変化しています。生涯学習においても、学校教育においても、変化に対応した取り組みに努めなければならないと考えます。評価者からも、「変化に対し、何を変え、何を変えないかを判断して、変えるべきと判断したときは、躊躇無く積極的な取り組みを行っていただきたい」という意見をいただきました。今後、教育委員会として、そのような考え方をしっかり持って事業に取り組んで参ります。

平成30年度教育委員会の事務に関する点検・評価（対象年度：29年度）に当たっては、鳥塚富弥氏（元埼玉県立総合教育センター副所長、元寄居小学校長）に評価並びにご意見、ご提言をいただきました。評価する上で、平成29年度の事業内容について丁寧に確認され、意見、提言をまとめていただきました。今後の事業に活かせるよう努めて参ります。ご協力に対し、心から感謝申し上げます。

平成30年度 教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

作成：寄居町教育委員会

電話048-581-2121（代表）